

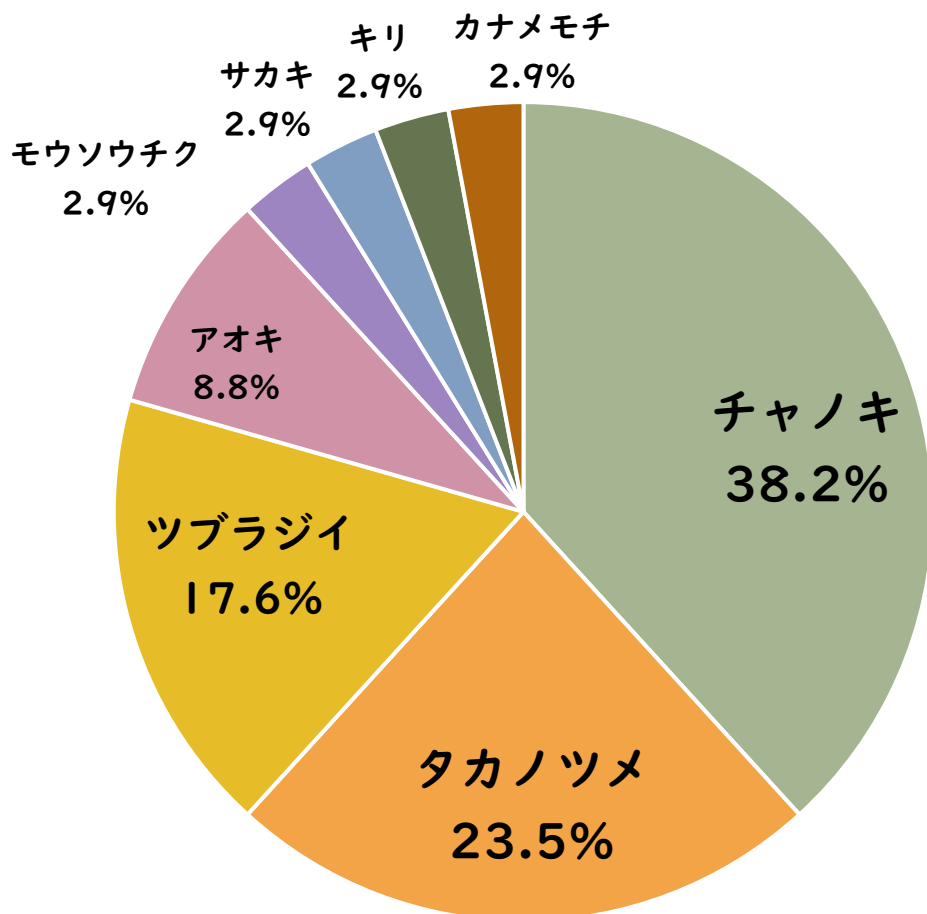
1年生・2年生 金華山自然観察実習

11月19日(1年生)20日(2年生)は、岐阜市の金華山(329m)で自然観察実習を行いました。樹木観察実習では、照葉樹林の樹木を学ぶことを目標として、ツブラジイ、アラカシ、カナメモチ、チャノキなど10種類の樹木の葉を識別するというテストを行い、森林科学科の生徒として、樹木の知識をより深めることができました。





金華山 最も印象に残った樹種ランキング2025



生徒の感想（抜粋）

- ・ツブラジイという木を初めて知れて勉強になったので、春にツブラジイの花を見にまた登りたいです。
- ・チャノキの葉脈が腹筋に似ているのが面白いと思ったので、とても印象に残って、分かりやすい樹木だと思いました。
- ・常緑樹は葉裏を見ると識別しやすいことを学べたことと、竹林を放置すると、竹害によって森林が浸食されることを知って、とても勉強になりました。
- ・キノコが生えている木は枯れていて、危険があることを知れてよかった。
- ・カナメモチは鋸歯が鋸みたいに鋭くて重厚な葉なのが面白とおもいました。
- ・鳩吹山よりも急な登山道で大変でしたが、金華山の頂上は、名古屋駅や周辺の山々が見渡せるので、とても景色が良くて気持ちが良かったです。とても充実感がありました。
- ・途中の崖や斜面でカナメモチが生えているのを見つけたのが楽しかった。